

第4学年1組 学級活動(1) 学習指導案

実施期間 令和 年〇～〇月
指 導 者

1 題材の構想

「4年1組かるた大会をしよう」 (ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決)

| | | | |
|---------------|---|--|--|
| 題材終了後の子どもの姿 | 自分たちだけのかるたを作ることを通して、自分や友達のことを深く知るとともに、学級への所属感が高まっている。 かるた大会を計画し実践することを通して、協力することの大切さを味わうとともに、自分たちの力でよりよい学級生活をつくっていかこうとする自治的能力が育ってきている。 | | |
| | 知識及び技能 | 思考力、判断力、表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
| 題材の目標 | 楽しい学級生活をつくるために友達と協働して取り組むことの意義を理解することができる。 意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けることができる。 | 楽しい学級をつくるために問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践することができる。 | 楽しい学級をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。 |
| 目標に向かうための手立て | ○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」 【めあて】 話し合いや実践のめあてである「友達のことをもっとよく知るために」を提案理由のキーワードと結びつけて設定し、自分たちの課題として常に意識できるようにする。 【振り返り】 前回までの学級会や取組における成長や課題について、振り返りをタブレット端末や電子黒板で視覚的に行い、今回の学級会に生かす。また、本題材における個々の取組は記録として保存し、自己の成長を確かめる「キャリア・パスポート」の作成に生かす。 【対話】 タブレットを活用し、事前に自分の意見をまとめておくことで、話し合いに安心して参加できるようにする。また、意見を共有し、多様な考えがあることに気付くようにする。 | | |
| 子どもの実態 30人 | 4年生の段階としての学級会の進め方や話し合いの約束などを理解できている児童が増えてきた。 友達の意見と自分の意見を比べる力には個人差がある。 | 話し合いの柱にそって、自分の意見を出すことは多くの児童ができるようになったが、合意形成の際に、仲のよい友達の意見に流されてしまう児童がいる。 | 自分の役割を粘り強く果たす児童がいる一方で、何事も他人任せで、自分たちで計画的に活動を進めていこうとする意識の低い児童が5割程いる。 |

| 題材の評価規準 | | |
|--|---|---|
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 友達と協働して取り組むことの意義を理解している。 議題や提案理由、話し合いのめあてについて理解し、意見の比べ方やまとめ方も身に付けている。 | 「友達のことをもっとよく知るために」という話し合いのめあてに沿って自分の意見を持ち、友達の意見と比べ合いながら合意形成を図り、決まったことを協力しながら実践している。 | 友達のことをもっとよく知るためのかるた大会をするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の役割を果たして活動に取り組もうとしている。 |

| 指導と評価の計画（学級活動2時間取り扱い 本時1/2） | | | | |
|---|------|----------------------|--|---------------------------|
| 課題等 | 活動段階 | 期日・時間 | 主たる学習活動 | 評価する内容と方法等 |
| 実践しよう。 「友達のことを深く知るための「かるた大会」を協力して計画し、実践しよう。」 | 準備 | ○月 日 帰りの会 | 議題を決定する。 | 【主】 観察 |
| | | ○月○日 家庭で | 学級会ノートに自分の考えを記入する。 | 【思】 学級会ノート 【知】 観察 |
| | 計画 | ○月○日 学級活動 | 第7回学級会で話し合う。 | 【知】 観察 【思】 振り返りシート |
| | 実践 | 随時 | 友達のよさ探しを進める。 | 【主】 観察 |
| | | ○月 日 学級活動 帰りの会 | 4年1組かるた大会を行う。 振り返りとともに画像による記録を整理する。 | 【思】 観察、授業支援アプリ 振り返りシート |

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

学級生活をより楽しく豊かなものにすることを目指し、友達のことをもっとよく知ることができるオリジナルかるたや大会の内容を決めることができる。

(2) 展開

| 過程 | 時間 | 学習活動 | 主な発問・指示 ・予想される子どもの反応 | 教師の支援 評価 | 備考 ・ICT 機器等 |
|----|----|---|---|--|---|
| 導入 | 4 | 1 はじめの言葉 2 議題の確認 提案理由の確認 話し合いのめあての確認 | 議題：「4年1組かるた大会」の計画をしよう。 ○提案理由やめあてに沿って話し合いをしましょう。 | ICT 機器を使って、かるたのイメージの共有化を図る。 | ・前回の学級会や取組の振り返り画像 ・電子黒板 |
| | | めあて：友達のことをもっとよく知ることができる「4年○組かるた大会」にするために、みんなの意見をよく聞き、考えを伝え合おう。 | | | |
| 展開 | 35 | 3 話し合い (1)「かるたに書く内容を何にするか」 (2)「友達のことをもっと知るための工夫をどうするか」 (3)「どんな係が必要か」 | (1) 書く内容の予想 ・「優しい、粘り強い」等の性格に関すること。 ・「絵が上手、歌が上手」等の特技に関すること。 (2) 工夫をどうするか。 ・友達のいいところ探しをする。 ・全員遊びの回数を増やしてもっと話をする。 (3) どんな係が必要か。 ・いいところを書くカードを作る。 ・教室の飾りを作る。等 | 話し合うこと(1)は、「くらべ合う」段階から進められるよう、事前に短冊を背面黒板等に掲示しておく。 (1)(2)(3)全体の評価 【知】 めあてを大切に、話し合いに参加している。 【思】 自分の意見に固執せず、納得した上で考えを変えるなど、折り合いを付けている。 | ・短冊カード ・学級会ノート ・タブレット |
| | | 6 | 4 決まったことの確認 5 振り返り 6 先生の話 7 おわりの言葉 | 今日の話合いでは、友達の考えと比べながら自分の考えを発表できていたね。 | 実践に向けての意欲付けを行う。前回の話し合いと比べての変わりについて称賛する。 |

特別活動

第4学年〇組 学級活動(1) 学習指導案

実施期間 令和〇年〇～〇月
指導者 〇〇 〇〇

1 題材の構想

「4年〇組かるた大会をしよう」 (ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決)

題材終了後の
子どもの姿

- ・自分たちだけのかるたを作ることを通して、自分や友達のことを深く知るとともに、学級への所属感が高まっている。
- ・かるた大会を計画し実践することを通して、協力することの大切さを味わうとともに、自分たちの力でよりよい学級生活をつくっていくとする自治的能力が育ってきている。

思考力、判断力、表現力等 学びに向かう力、人間性等

ポイント

題材終了後の子どもの姿

他教科や実生活、将来に、本学習がどのようにつながり、生かされるかを子どもの姿で想定して書く。文末は～している。～いる。

| | |
|--------------|--|
| 目標に向かうための手立て | <p>〇「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」</p> <p>【めあて】 話し合いや実践のめあてである「友達のことをもっとよく知るために」を提案理由のキーワードと結びつけて設定し、自分たちの課題として常に意識できるようにする。</p> <p>【振り返り】 前回までの学級会や取組における成長や課題について、振り返りをタブレット端末や電子黒板で視覚的にを行い、今回の学級会に生かす。また、本題材における個々の取組は記録として保存し、自己の成長を確かめる「キャリア・パスポート」の作成に生かす。</p> <p>【対話】 タブレットを活用し、事前に自分の意見をまとめておくことで、話し合いに安心して参加できるようにする。また、意見を共有し、多様な考えがあることに気付くようにする。</p> |
|--------------|--|

| | | | |
|---------------|--|--|--|
| 子どもの実態 30人 | <p>①4年生の段階としての学級会の進め方や話し合いの約束などを理解できている児童が増えてきた。</p> <p>②友達の意見と自分の意見を比べる力には個人差がある。</p> | <p>①話し合いの柱にそって、自分の意見を出すことは多くの児童ができるようになったが、合意形成の際に、仲のよい友達の意見に流されてしまう児童がいる。</p> | <p>①自分の役割を粘り強く果たす児童がいる一方で、何事も他人任せで、自分たちで計画的に活動を進めていこうとする意識の低い児童が5割程いる。</p> |
|---------------|--|--|--|

子どもの実態

- ・具体的な姿やデータで実態を述べる。
- ・題材終了後の子どもの姿にあげた内容とのつながりを重視する。

ポイント

| 指導と評価の計画(学級活動2時間取り扱い ●本時1/2) | | | | |
|----------------------------------|------|----------------------|--|--------------------------|
| 課題等 | 活動段階 | 期日・時間 | 主たる学習活動 | 評価する内容と方法等 |
| 実践しよう。 「かるた大会」を協力して計画し、実践しよう。 | 準備 | 〇月〇日 帰りの会 | 〇議題を決定する。 | 【主】①観察 |
| | | 〇月〇日 家庭で | 〇学級会ノートに自分の考えを記入する。 | 【思】①学級会ノート 【知】①観察 |
| | 計画 | 〇月〇日 学級活動 | ●第7回学級会で話し合う。 | 【知】②観察 【思】①振り返りシート |
| | | 随時 | 〇友達によさ探しを進める。 | 【主】①観察 |
| | 実践 | 〇月〇日 学級活動 帰りの会 | 〇4年〇組かるた大会を行う。 〇振り返りとともに画像による記録を整理する。 | 【思】①観察、ロイロノート 振り返りシート |

ポイント

2 本時の授業計画

- 本時の目標
学級生活をより楽しくするオリジナルかるたや大
- 展開

| 過程 | 時間 | 学習活動 | 指導と評価の計画 |
|--------|----|---|---|
| | | はじめの言葉 議題の確認 提案理由の確認 話し合いのめあての確認 | <p>〇提案理由やめあてに沿って話し合いをしましょう。</p> <p>〇ICT機器を使って、かるたのイメージの共有化を図る。</p> |
| | | めあて: 友達のことをもっとよく知ることができる「4年〇組かるた大会」にするために、みんなの意見をよく聞き、考えを伝え合おう。 | |
| 展 開 | 3 | 話し合い (1)「かるたに書く内容を何にするか」 | <p>〇話し合うこと(1)は、「くらべ合う」段階から進められる。</p> |
| | | (2)「友達のことをもっと知るための工夫をどうするか」 | <p>(1)書く内容の予想 【知】「楽しい」「対り強い」等の</p> |
| | | (3)「どんな係が必要か」 | <p>(2)工夫をどうするか ・友達のいいところ探しをする。 ・全員遊びの回数を増やしてもっと話をする。</p> <p>(3)どんな係が必要か。 ・いいところを書くカードを作る。 ・教室の飾りを作る。等</p> |
| 終 末 | 6 | 4 決まったことの確認 5 振り返り 6 先生の話 7 おわりの言葉 | <p>〇今日の話し合いでは、友達の考えと比べながら自分の考えを発表できていましたね。</p> <p>〇実践に向けての意欲付けを行う。前回の話し合いと比べての姿容について称賛する。</p> |

指導と評価の計画

主体的な学習につながる準備や実践、振り返りを計画して書く。

話し合いの柱

子どもたちの実態に応じて2～3項目を設定する。

本時の評価

「Bと判断する状況」を具体的に明示する。

(1)(2)(3)全体の評価
◎【知】めあてを大切にして、話し合いに参加している。
◎【思】自分の意見に固執せず、納得した上で考えを変えるなど、折り合いを付けている。

ポイント